

令和3年度

江北町一般会計補正予算（第3号）

事業説明書

目 次

●一般会計

総務政策課

総務管理企画費(コミュニティ助成事業補助金) 1

防災アプリ整備事業 2

健康福祉課

重度心身障害者医療費助成事業 3

低所得の子育て世帯支援特別給付金給付事業 4

地域振興課

駅の賑わい創出事業 5

地域振興費(里山地区 笑顔・彼岸花満開事業) 6

産地生産基盤パワーアップ事業 7

基盤整備課

流域治水推進事業 8

こども教育課

コミュニティーセンター管理費(音響設備整備) 9

公民館費(音響設備整備) 10

SAGA2024国民スポーツ大会事業 11

サガン鳥栖地域連携事業 12

款	2.総務費	項	1.総務管理費	目	5.企画費	事項別	13
事業名	総務管理企画費(コミュニティ助成事業補助金)					区分	継続
補正後 予算額	4,100	補 正 額 財 源 内 訳	国			(単位:千円)	
補正前 予算額	-		県		その他	4,100	
補正額	4,100		町債		一般財源		

1. 事業概要・補正を必要とする理由

一般財団法人 自治総合センターに申請していた「新宿区」及び「土元区自主防災会」のコミュニティ助成事業について、令和3年3月26日付けで助成の決定を受けたため補正するもの。

新宿区……エアコン、テレビ等の集会所で使用する備品の購入

土元区自主防災会……発電機、簡易テント等の防災組織運営に係る備品の購入

2. 補正額の予算内訳

・負担金補助及び交付金(コミュニティ助成事業補助金) 4,100千円
 (新宿区 2,100千円)
 (土元区 2,000千円)

3. 特定財源の内容

・雑入(コミュニティ助成事業助成金) 4,100千円

○過去の実績

年 度	一般コミュニティ	地域防災組織育成
H28年度	上区	東分
H29年度	岳、山口地区7区	門前
H30年度	西分	
R1年度	平山	
R2年度	大西、門前自治会、岳	

※各地区の整備内容については、集会所内の備品、防災備品、太鼓・笛、遊具等の整備
 ※山口地区7区は、浦安の舞保存会の衣装などを共同整備

款	9.消防費	項	1.消防費	目	2.消防施設費	事項別	35
事業名	防災アプリ整備事業					区分	新規
補正後 予算額	1,198	補正額 財源内訳	国	657	(単位:千円)		
補正前 予算額	-		県		その他	541	
補正額	1,198		町債		一般財源		

1. 事業概要・補正を必要とする理由

情報発信アプリ、「江北町くらしの情報ナビ(へそなび)」により、町からのお知らせや災害時の避難情報、新型コロナウイルス感染症に関する情報等を随時配信している。

今後は、「へそなび」が備えているウェブラジオの機能を拡充し、現地から様々な情報発信等を行い、町のイベントや観光PRを行っていきたい。

また、コロナ過で人と人との対面が困難な中、町民をはじめ県外在住の方や町に関わりのある方へ、きめ細やかな町の情報を発信することで、「へそなび」の利用促進を図る。

2. 補正額の主な予算内訳

12.委託費(システム改修) 1,198千円

3. 主な特定財源の内容

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国) 657千円
 ・ふるさと振興基金 541千円

4. その他特記すべき事項

【登録者数】 578名 (令和3年5月28日現在)

いつでも
 スマホに登録すれば気軽に情報が受け取れます。
 どこでも
 屋外作業中や遠方にお住まいの方も受け取れます。
 なんどでも
 情報を聞き逃しても、何度でも再生確認ができます。



款	3.民生費	項	1.社会福祉費	目	1.社会福祉総務費	事項別	19
事業名	重度心身障害者医療費助成事業					区分	継続
補正後 予算額	18,375	補 正 額 財 源 内 訳	国		(単位:千円)		
補正前 予算額	17,835		県	270	その他		
補正額	540		町債		一般財源	270	

1 改正の経緯

- ① 障害者団体等からの要望を受け、佐賀県が助成対象に重度精神障害者を追加
- ② これを受け県内自治体の多くが6月定例議会に議案を提出予定

2 改正のメリット

- ① 重度精神障害者の医療費負担の軽減
- ② 障害区分間での助成内容の違いを是正

3 改正のイメージ

【現行】				【改正後】	
障害区分	対象者	通院	入院	通院	入院
身体	身体障害者手帳1級、2級所持者	○	○	○	○
知的	児童相談所等の判定した知能指数 (IQ)35以下	○	○	○	○
精神	精神障害者保健福祉手帳1級所持者	—	—	○	△※
重複	身体障害者手帳3級所持かつ判定知能指数50以下	○	○	○	○

※精神病床における入院に要した額は対象外とする。

4 補正額の主な予算内訳

・重度心身障害者医療費助成金 540千円

5 主な特定財源の内容

・重度心身障害者医療費助成金補助金(県) 270千円

款	3.民生費	項	2.児童福祉費	目	2.児童措置費	事項別	23
事業名	低所得の子育て世帯支援特別給付金給付事業					区分	新規
補正後 予算額	14,041	補正額 財源内訳	国	14,041	(単位:千円)		
補正前 予算額	-		県		その他		
補正額	14,041		町債		一般財源		

1. 事業概要・補正を必要とする理由

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。
 ※ひとり親世帯以外の世帯(その他世帯)向けの給付

【給付額】 児童1人当たり一律5万円

ひとり親世帯向けの給付は都道府県等が主体で4月より支給開始しており、その他世帯分は市町村主体にて実施。費用は全額国庫補助金(10/10)

【支給対象】

- ①令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の支給を受けている者であって、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者(申請不要)
- ②対象児童(18歳年度末までの子(障害児については20歳未満※)の養育者であって、以下のア・イのいずれかに該当する者(要申請)
 - ※令和3年4月以降令和4年2月末までに生まれる新生児も対象とする
 - ア 令和3年度分の住民税均等割が非課税である者
 - イ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者と同様の事情にあると認められる者(家計急変者)

2. 補正額の主な予算内訳

・事業費(給付金) 11,300千円
 ・事務費(職員手当、通信運搬費他) 2,741千円

3. 主な特定財源の内容

・低所得の子育て世帯生活支援特別給付事業費補助金(国) 14,041千円

款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	5. 企画費	事項別	13
事業名	駅の賑わい創出事業					区分	継続
補正後 予算額	113,940	補正額 財源内訳	国	18,121	(単位:千円)		
補正前 予算額	8,984		県		その他	86,835	
補正額	104,956		町債		一般財源		

駅北側にコンテナショップを整備し、駅周辺の賑わいづくりに取り組みます。

- 駅活性化事業として、駅北側駐車場にコンテナショップを5基整備
来年秋の九州新幹線西九州ルート開業に向けて、2022年春ごろのオープンを目指す。



- 各テナントの営業時間・曜日のバランスを考慮したテナント募集を行い、常時賑わいが溢れる場所づくりを行う。

朝	昼	夜
● カフェ	● ランチ	● 居酒屋
● パン、スイーツ販売		● デイナー

- テラスなどを利用して、訪れた方が会話を楽しみながらくつろいで過ごしてもらえるよう飲食を提供するテナントを中心として、一定時間留まってもらう仕組みをつくる。
- オープンスペースを利用してイベント等を実施することにより、コンテナショップとイベント口等の相乗効果による駅の賑わいづくりを行う。



款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	5. 企画費	事項別	13
事業名	地域振興費(里山地区 笑顔・彼岸花満開事業)					区分	新規
補正後 予算額	1,640	補正額 財源内訳	国		(単位:千円)		
補正前 予算額	-		県		その他	1,640	
補正額	1,640		町債		一般財源		

彼岸花の取り組みを広げて、地域のみなさんの健康増進と地域活性化につなげます。

1. 事業目的

中山間地域の農地等の維持管理や地域活性化が喫緊の課題となっている。
 このような課題解決に取り組むとともに、地域の皆さんの健康づくりなどを進めるために、
 彼岸花の植栽、鑑賞、地域外の方との交流事業を実施する。

2. 事業計画

実施方法 3地区で彼岸花満開事業推進協議会(仮称)を設置し、事業に取り組んでいく。

実施内容 地区ごとに異なった色の彼岸花を植栽、来場された方に各地区を巡って鑑賞してもらい、地域でのおもてなしや交流を実施

実施場所 中山間地域の3地区を想定

スケジュール

実施時期	項目
6～8月	彼岸花の植栽定植、捕植、施肥
	交流事業内容検討・内容打合せ
7～9月	周知
9月下旬	事業実施

3. 主な特定財源の内容

長寿社会づくりソフト事業費交付金((公財)地域社会振興財団) 1,640千円

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	4. 園芸振興費	事項別	31
事業名	産地生産基盤パワーアップ事業					区分	継続
補正後 予算額	6,000	補正額 財源内訳	国			(単位:千円)	
補正前 予算額	3,351		県		その他		
補正額	2,649		町債		一般財源	2,649	

1. 事業概要・補正を必要とする理由

【事業概要】

杵藤地区トレーニングファームにおいて、町内の新規就農を目指す方がトマト、胡瓜の研修に取り組まれている。

今年度は2名(ともに胡瓜)が修了予定で、県の産地パワーアップ事業を活用し、園芸ハウスの整備に取り組まれており、ハウスを町内に整備して今年度中に新規就農されることになっている。

【補正を必要とする理由】

県では園芸生産888億円運動を強力に推進する中で、今年3月に佐賀県産地パワーアップ事業補助金交付要綱が改正され、さらに強力に園芸作物の生産額の向上を図ることとされた。

町としても県と一体となった取り組みを進めていくとともに、町内の若手農業者の支援充実を図る必要があることから、今回、改正に伴い既決分に補助金額を増額して支援していくもの。

2. 補正額の主な予算内訳

産地生産基盤パワーアップ事業負担金 2,649 千円

3. その他

【補助金交付要綱改正内容】

《改正前》

県費	取組主体: 上限 30,000千円
市町費	取組主体: 上限 7,500千円

《改正後》

県費	1人当り: 上限 12,000千円
市町費	1人当り: 上限 3,000千円

(単位:千円)

		県費	市町費
武雄市	A氏	2,350	588
	B氏	5,138	1,284
	C氏	5,792	1,448
	計	13,280	3,320
江北町		県費	市町費
	D氏	6,909	1,727
	F氏	6,495	1,624
	計	13,404	3,351
嬉野市		県費	市町費
	E氏	3,316	829
	計	3,316	829
合計		30,000	7,500



(単位:千円)

		県費	市町費
武雄市	A氏	7,170	1,792
	B氏	12,000	3,000
	C氏	12,000	3,000
	計	31,170	7,792
江北町		県費	市町費
	D氏	12,000	3,000
	F氏	12,000	3,000
	計	24,000	6,000
嬉野市		県費	市町費
	E氏	10,114	2,529
	計	10,114	2,529
合計		65,284	16,321

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	6. 農地費	事項別	31
事業名	流域治水推進事業〔水害を軽減させる流域治水対策の構築〕					区分	新規
補正後 予算額	3,487	補正額 財源 内訳	国			(単位:千円)	
補正前 予算額	-		県	1,743	その他		
補正額	3,487		町債		一般財源	1,744	

1. 事業概要・補正を必要とする理由

洪水警戒時の浸水被害軽減対策として令和2年度より試験運用を実施した、ため池や幹線水路の事前落水については、地元水利組合等の協力により一定の効果が得られ、浸水被害の軽減に繋がったと考えられる。しかしながら、ため池については、降雨時に雨水を一時貯留するなど防災機能を有している一方で、農業用水の貯水という重要な利水機能を有しているため、思い切った事前落水ができておらず、この課題を解消することが、事前落水の効果を最大限に発揮することに繋がると考えられる。

このため、ため池の回復可能降雨量に応じた事前落水の可能水量を把握し、ため池を有効活用した事前落水の仕組みを構築するために、今回、調査に要する費用を計上する。

なお、幹線水路の事前落水については、令和3年度に別途県で効果検証の調査が行われる。

2. 補正額の主な予算内訳

12.調査設計委託料 3,487 千円

3. 主な特定財源の内容

・流域治水推進事業補助金(県) 1,743 千円

4. 流域治水対策の内容

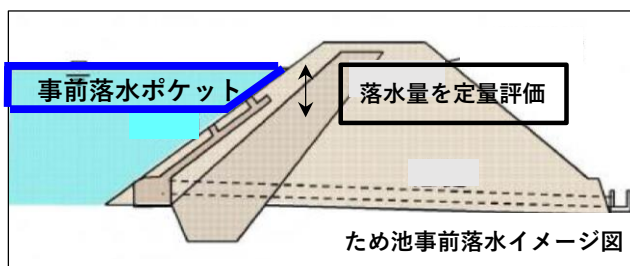
流域治水とは・・・地域全体の関係者が協働し、水害を軽減させる取り組み



貯水量が10万t以上のため池5箇所を対象

上畑川、畑川、山口新堤、宮原、佐留志新堤

回復可能降雨量と事前落水可能水量の検討



対象降雨を数ケース設定し、回復可能な降雨量と事前落水における可能水量を整理する。

※事前落水における落水量を定量評価

款	10.教育費	項	5.社会教育費	目	2.公民館費	事項別	39
事業名	コミュニティーセンター管理費(音響設備整備)					区分	新規
補正後 予算額	1,298	補正額 財源内訳	国	1,298	(単位:千円)		
補正前 予算額	-		県		その他		
補正額	1,298		町債		一般財源		

1. 事業概要・補正を必要とする理由

佐賀のへそ・ふれあい交流センター『ネイブル』の音響設備については建設当時のままであり、経年劣化による音声の不具合がみられる。

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として町の行事(成人式、江北町表彰式等)もネイブルで開催されるようになり、今後も三密回避対策としての利用増加を見込んでいる。

現在の設備では、音響の不具合や周囲の電波を拾うことがあり、式典時等に支障をきたすおそれがあるため、混信やノイズに強いデジタルワイヤレスシステムの導入をおこなう。

2. 補正額の主な予算内訳

- ・音響設備一式 17.備品購入費 1,298 千円

3. 主な特定財源の内容

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国) 1,298 千円

4. その他特記すべき事項

- ・デジタルワイヤレスの主な特徴

無線伝送品質の改善

ノイズの影響を極限まで抑えたデジタルならではの混信耐性と高音質。

デジタルトゥルーダイバシティ方式の採用により、混信やノイズに強く、安定した受信と高音質を実現しました。



款	10.教育費	項	5.社会教育費	目	2.公民館費	事項別	39
事業名	公民館費(音響設備整備)					区分	新規
補正後 予算額	2,340	補正額 財源内訳	国	2,340	(単位:千円)		
補正前 予算額	-		県		その他		
補正額	2,340		町債		一般財源		

1. 事業概要・補正を必要とする理由

公民館大ホールについては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として会議での使用率が高くなっている。
 発声者が多い会議になるとマイクを使いまわしている状態のため、発声者が1人1本での対応ができるようにワイヤレスマイクのチャンネル増設、受信機の増設等、システム整備をおこなうものである。
 また、今回の改修に合わせ、混信やノイズに強いデジタルワイヤレスシステムの導入をおこなう。

2. 補正額の主な予算内訳

・音響設備一式 17.備品購入費 2,340 千円

3. 主な特定財源の内容

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国) 2,340 千円

4. その他特記すべき事項

・公民館大ホールで開催されている各会議 (令和2年度実績:100件程/年)
 【定例会】 区長会、分館長会、民生委員会 等
 【総会等】 交通安全協会、町体育協会、女性ネットワーク 等
 【説明会】 町政懇談会、ふるさと納税事業者説明会 等
 【会 議】 防災会議、同和問題市町講座 等

款	10.教育費	項	6.保健体育費	目	1.保健体育総務費	事項別	41
事業名	SAGA2024国民スポーツ大会事業					区分	継続
補正後 予算額	2,022	補正額 財源内訳	国			(単位:千円)	
補正前 予算額	420		県		その他		
補正額	1,602		町債		一般財源	1,602	

1. 事業概要・補正を必要とする理由

2024年に開催が決定した「第78回国民スポーツ大会」に向けて、今年度「江北町実行委員会(仮称)」の設立を予定している。

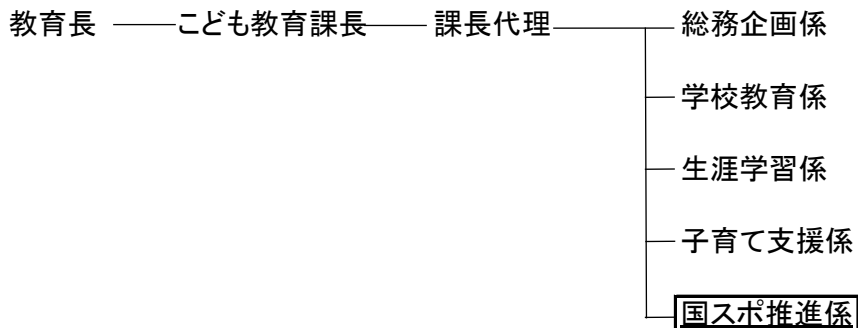
準備に係る実行委員会の事業及び運営等については、業務も多岐にわたり、対応方針の検討や施設整備をはじめ、県や競技団体との緊密な連絡調整、庁舎関係組織の強化、住民に対する広報・啓発活動など、早急に取り組まなければならない課題もあることから、準備業務を着実に進めるための体制整備に係る費用を補正する。

2. 補正額の主な予算内訳

・会計年度任用職員の雇用に係る人件費 (報酬、職員手当 ほか) 1,602 千円

3. その他特記すべき事項

【新たな組織体制図】 (令和3年7月1日新設予定)



款	10.教育費	項	6.保健体育費	目	1.保健体育総務費	事項別	41
事業名	サガン鳥栖地域連携事業					区分	新規
補正後 予算額	500	補正額 財源内訳	国		(単位:千円)		
補正前 予算額	-		県		その他		
補正額	500		町債		一般財源	500	

1. 事業概要・補正を必要とする理由

佐賀県内のプロサッカーチームである『サガン鳥栖』と連携・交流し、スポーツをより身近に感じる機会を創出することにより、地域の活性化、一体感の醸成を図り、笑顔あふれる豊かな地域社会づくりにつなげていく。

佐賀県及び他市町も支援をおこなっており、本町においても地域密着型のクラブを目指すサガン鳥栖と連携・交流を進め、スポーツを通じた取り組みにより、魅力ある町づくりを推進する。

2. 補正額の主な予算内訳

13.委託料 500 千円

3. その他特記すべき事項

・江北町とサガン鳥栖による『連携協定』を結び、広報支援、サッカー教室等を実施予定。